

2024
vol.63
no. 3

写真測量とリモートセンシング

目次

〈巻頭言〉 測量技術が支える建設 DX の進化	江藤隆志	51
〈カメラアイ〉 PLANET MAP –新たな地形特徴量による地形強調表現図–	坂元光輝	52
〈原著論文〉 素因と誘因を考慮した土砂災害発生確率モデルと深層学習を併用した被災箇所早期検知モデルに関する研究	田中優也, 後藤真太郎	54
〈技術報告〉 Potential groundwater map in semi-arid zones estimated by integrating folkloric knowledge, remote sensing, and Geographic Information System	岡本勝男, 眞弓孝之, 茂木 俊, 中村清美, 小美野剛	69
〈情報ルーム〉 DTM を Google Earth に投入して初期人類の進化を読み解く	得丸久文	80
〈活動報告〉 第63回定時総会 報告	布施孝志	82
〈活動報告〉 令和6年度年次学術講演会 報告	中川雅史	87
〈文献抄録〉 「指示通り」ができない人たち	中川雅史	107
〈文献抄録〉 TreePartNet: Neural Decomposition of Point Clouds for 3D Tree Reconstruction	熊崎理仁	108
〈会のうごき〉		110
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		111

表紙説明：国土地理院は、最新の航空レーザ測量データを基に作成した基盤地図情報（数値標高モデル）1mメッシュ（標高）の提供を、令和5年11月30日に開始した。メッシュサイズ1mは、これまで提供してきた5mメッシュに比べて25倍、10mメッシュに比べて100倍の分解能を持ち、より細かな土地の状況を表すことができることから、更に精度の高いシミュレーションが可能となり、ハザードマップの浸水想定や土砂災害警戒箇所の抽出精度の向上などが期待される。本表紙画像は、新たに提供を開始した1mメッシュの標高データの細かさを視覚的に示すため、これまで提供されてきた5m及び10mメッシュの標高データと隣り合う場所で連続的に上段から下段へ並べて表示したものである。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧ください。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail: office@jsprs.jp

編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	木寺幸司	(日本測量協会)
	窪田諭	(関西大学)
	白井直樹	(朝日航洋(株))
	高橋元気	(国際航業(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼田洋一	(アジア航測(株))
	野口真弓	(国土地理院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李 勇 鶴	((株)パスコ)
	力丸 厚	(長岡技術科学大学)